

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用時期	使用回数	散布量 (ℓ)	対象病害虫	注意事項
／	第1回 3月中下旬 発芽前	(水 88ℓ) スプレーオイル 2ℓ 石灰硫黄合剤 10ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順:スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用する。 ② 石灰硫黄合剤に代えてベフラン液剤 25 の 1,000 倍(休眠期、6 回以内。ただし開花期以降は 3 回)を使用してもよい。混用順:ベフラン液剤→スプレーオイル
／	第2回 4月上旬 (展葉後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ベフラン液剤25 100mℓ	前日	3回	400	黒星病	① <b>うどんこ病対策</b> コロナフロアブル 400 倍を加用する。 ② 展着剤ササラに代えて、ハイテンパワー10,000 倍でもよい。以降の回も同様。
／	<b>黒星病 特別散布</b> 4月中下旬(開花前)	展着剤(ササラ) 50mℓ パスポート顆粒水和剤 100g	45日前	3回	350	黒星病	① <b>【代替】</b> パスポート顆粒水和剤に代えてパスポートフロアブル 1,000 倍(45 日前、3 回)でもよい。
／	第3回 5月初旬 (開花期)	展着剤(ササラ) 50mℓ オルフィンフロアブル 25mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ	7日前 前日	3回 3回	400	黒星病・うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類	① <b>【代替】</b> サムコルフロアブルに代えて、フェニックスフロアブル 4000 倍(前日、2 回)でもよい。
／	第4回 5月中旬 (落花後) (前回より10日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ スコア顆粒水和剤 33g ユニックス顆粒水和剤 47 50g	14日前 14日前	3回 4回	500	黒星病、うどんこ病	① <b>アブラムシ類対策</b> ウララDF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ② <b>【代替】</b> スコア顆粒水和剤に代えて、オンリーワンフロアブルの 2000 倍(7 日前、3 回)でもよい。
／	第5回 5月下旬 (前回より10日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ パレード15フロアブル 50mℓ コルト顆粒水和剤 25g	前日 前日	3回 3回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、褐斑病 アブラムシ類、カイガラムシ類	① <b>【代替】</b> パレードフロアブルに代えて、フルーツセイバー 2,000 倍(前日、3 回)でもよい。
／	<b>黒星病 特別散布</b> 5月末 (前回より7日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ジマンダイセン水和剤 200g	30日前	3回	600	黒星病、黒点病、褐斑病	① <b>アブラムシ対策</b> モスピラン顆粒水溶剤 4000 倍(前日、3 回)加用する。
／	第6回 6月上旬 梅雨前半 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ アントラコール顆粒水和剤 200g ダーズバンDF 33g	45日前 45日前	4回 1回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭そ病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ	① <b>【代替】</b> アントラコール顆粒水和剤に代えて、ジマンダイセン水和剤 500 倍(30 日前、3 回)でもよい。 ② <b>カイガラムシ類対策</b> アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
／	第7回 6月下旬 梅雨中盤 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ シトラノフロアブル 100mℓ スプラサイド水和剤 66g	45日前 30日前	3回 2回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類 ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ、カメムシ類	① <b>早期ハダニ類抑制対策</b> マイコトネフロアブル 1,000 倍(前日、1 回)を加用する。 ② <b>枝腐らん病対策</b> トップジン M 水和剤 1,000 倍(前日、6 回)を加用する。 ③ <b>キンモン対策</b> デミリン水和剤 4,000 倍(30 日前、3 回)加用する。
／	第8回 7月上旬 梅雨最盛期 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ バイスロイドEW 50mℓ ラビライト水和剤 200g	7日前 30日前	4回 1回	600	腐らん病、炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病、黒星病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、キンモンハモグリガ	① <b>輪紋病対策</b> :IC ボルデー412 の 33 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種にはボルデー液は使用しない。 ② <b>【代替】</b> ラビライト水和剤に代えて、ジマンダイセン水和剤 500 倍(30 日前、3 回)でもよい。
／	<b>炭そ病 特別散布</b> 7月中旬(梅雨末期) (前回より7日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ オーソサイド水和剤 80 100g	前日	6回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病	① 散布時期は前回より7 日後を目安とする。
／	第9回 7月下旬 梅雨明け後 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ダニゲッターフロアブル 50mℓ オリオン水和剤 40 100g キノンドー顆粒水和剤 100g	前日 前日 14日前	1回 2回 4回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類、カイガラムシ類	① <b>薬害注意!</b> ダニゲッターフロアブルは開花期の水稲やシャインマスカットに飛散しないようにする。 ② <b>【代替】</b> キノンドー顆粒水和剤に代えて、オキシラン水和剤 500 倍(14 日前、4 回)でもよい。 ③ 収穫前の桃等への飛散に注意する。
／	第10回 8月上旬 お盆前 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ コロマイト乳剤 100mℓ エクシレルSE 20mℓ ダイパワー水和剤 100g	前日 前日 前日	1回 3回 3回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 ハダニ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類、キンモンホソガ	① <b>【代替】</b> ダイパワー水和剤に代えて、オーソサイド水和剤 1,000 倍(前日、6 回)でもよい。
／	<b>シンクイムシ特別散布</b> 8月中旬(盆中) (前回より7日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ バリアード顆粒水和剤 50g	前日	3回	600	シンクイムシ類 カメムシ類	① <b>ハダニ類対策</b> アカリタッチ乳剤 1,000 倍(前日、-)を加用する。
／	第11回 8月中下旬 お盆後 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ プリントフロアブル25 50mℓ イカズチ WDG 66g オーソサイド水和剤 80 100g オマイト水和剤 133g	前日 前日 前日 3日前	4回 3回 6回 1回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、キンモンハモグリガ	① <b>ドリフト注意!</b> オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないようにする。 ② 収穫前の桃等への飛散に注意する。
／	第12回 9月上旬 秋雨前 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ストライド顆粒水和剤 66g ダントツ水溶剤 50g	前日 前日	3回 3回	600	炭そ病、斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病、黒星病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、キンモンハモグリガ コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ	① <b>薬害注意!</b> ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがある。 ② <b>ハダニ類対策</b> アカリタッチ乳剤 1,000 倍(前日、-)を加用する。
／	第13回 9月中下旬 秋映等最終 (前回より10~15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ベフラン液剤 25 50mℓ オリオン水和剤 40 100g	前日 前日	3回 2回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 黒星病 シンクイムシ類、ハマキムシ類	① 秋映等最終防除 ② <b>【代替】</b> オリオン水和剤に代えて、ディアナWDG10,000 倍(前日、2 回)でもよい。
／	<b>秋季 特別散布</b> 9月末(ふじ最終) (前回より7日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ アリエッティ C 水和剤 100g	前日	3回	600	輪紋病、炭そ病 すす点病、すす斑病 黒星病	① ふじ等晩生種最終防除。 ② 収穫前の桃等への飛散に注意する。

**【共通】** 展着剤ササラ 2000 倍を使用する。薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きが早くなる。

**当防除暦の複製・コピーを禁止します。**